

## 校長だより(令和2年12月)

校長 吉井靖明

早いもので今年も残り1か月。コロナウィルスに翻弄された1年でしたが、皆様のご理解とご協力により学校再開後は順調に教育活動を進めることができました。藤特祭でご覧いただいたとおり、子どもたちは日々の学習や学校行事を通して、着実に大きな成長を続けています。コロナ禍は確かに従来の教育活動に対するピンチではありますが、これを乗り越えるためこれまでの活動を見直し、工夫し、改善を図る絶好のチャンスと捉え、前向きに教育活動を進めていきます。

### ○避難訓練・職員消火訓練

11月10日(火)地震発生を想定した避難訓練が、16日(月)には職員の消火訓練が行われました。消火訓練では高等部の新島先生の熱血指導の下、消化器の使い方を再確認しました。先生からは「火元の手前から箒で掃くように」「泡で炎を包むように」とポイントを具体的なアドバイスをいただきました。

### ○企業採用担当者学校見学会

11月11日(水)企業採用担当者11名を迎え、学校見学会が開催されました。高等部の紹介、生徒による就業体験発表後、パーソルサンクス株式会社特例子会社とみおか繭工房の国生英輝氏より「障がい者雇用 採用と定着のポイント」と題してご講演をいただきました。企業側には障がいを持つ方々の受入に不安を持つ場合が多く、大変参考になったとの感想をいただきました。今後も不安解消に積極的に寄与することで理解の推進と雇用の拡大につなげていきたいと考えています。

### ○アビリンピック全国大会

高等部2年の木竜未来さんが11月13日(金)～14日(土)に愛知県で行われたアビリンピック全国大会に出場しました。緊張したなかでも練習の成果を発揮し、最後まで粘り強く競技に取り組んでくれました。また、大会に先立ち群馬県庁で行われた群馬県選手団壮行会では選手宣誓の大役を果たしました。(群馬テレビでインタビューが放送されました。)さらに高等部では12日(金)に壮行会が開かれ、生徒たちから熱い熱い激励のことばと力強いエール、寄せ書きが送られました。



### ○トップアスリート交流事業

11月20日(金)群馬県並びに群馬県障がい者スポーツ協会の主催により高等部、中学部を対象にしたトップアスリート交流事業が行われました。この事業はスポーツの楽しさや素晴らしさを伝えることによる障がい者スポーツの普及推進を図ること、また、障がいを発信していくことを目的に行われたいです。当日先生は障がい者フライングディスク協会より2名の先生が先陣を切っていきなさいと、輪をくぐるディスクを競うディスク競技に挑戦が遠くまで飛んでいくたびに大きな歓声が上がり、講師の先生からは全国大会出場に向けて頑張ってみないかと誘いを受けるとも、今後の学習活動に取り組みやすいこととあり、今後学習活動を取り組むことを検討してまいります。なお、この様子は21日付の上毛新聞にて報道されました。



### ○藤特祭

11月28日(土)第2回藤特祭が開催されました。今年度は今般の状況から小中学部棟、高等部棟での分散開催、開会式及び閉会式の省略、保護者2名までの参観等の感染予防対策のもと開催となりました。高等部では藤特ソーラン、音楽発表、和太鼓演奏、作業製品販売が、中学部では作業学習の実演及び製品販売が、小学部では多目的ルーム及び教室での発表が行われました。また、すべての学部で作品展示も行われました。日頃の学習の成果が遺憾なく発揮され素晴らしい発表となり、子どもたちは大きな達成感を得ることができました。藤特祭で得られた自信を次の学習や活動への意欲向上につなげさらなる成長を目指していききたいと思います。